

Thank you Report 2024



理事長 梅原 徹

大阪自然史センターを支えてくださりありがとうございます

2024年はおかげさまで学生インターン2名を受け入れ、大阪自然史フェスティバル2024も過去最大の出展数で盛大に開催できました。今夏、博物館では特別展「昆虫MANIAC」が開催予定、友の会も70周年を迎え博物館関連事業を計画中です。引き続きのご支援をお願いします。



川上和歌子

あくあぴあにも新しい仲間が加わり、NPO活動の軌跡をまとめる執筆の機会をいただくなど、振り返ってみての感想は「充実」の一年でした！



西澤真樹子

自然史フェス、たくさんのご寄付と古本の寄贈に支えられました。感謝しています。9年前のインターン生、中川さんが山形県博の学芸員になられたのも嬉しいニュースでした！



山中亜希子

博物館はもちろん、社会技術研究開発センターや文化庁とのコラボ、出張ワークショップやインターン受け入れなど、活発な一年でした。



神山雄人

ワークショップをはじめ、自然史フェス運営や友の会事務局として、広く自然の普及に携わることができました！



坂田洋乃

博物館、研究者、作家、お客様…ミュージアムショップを通じた繋がりを作ることができました。

2024
できたこと

大阪自然史センター 理事



大久保その子

KONC事務局業務に加え、RISTEXやワークショップにも関わることができました。



友澤貴子

自然史や博物館活動に関わる広報用のデザイン制作をさせて頂き、学びが多い一年でした！



仲本祐美子

友の会会員証の発送やショップ作業などの裏方業務を主に活動させていただきました。



竹村 望

いつもと違う、色々な場所でのワークショップや出張ショップに参加することができました。



(写真左から) 左木山 祝一・小林 春平・中田 兼介・西澤 真樹子・梅原 徹・道盛 正樹・山中 亜希子・楠井 晴雄
(写真中央左から) 乾 公正・丸山 健一郎・川上 和歌子

はくらぼ

認定特定非営利活動法人 大阪自然史センター

2024 年の成果をご報告！

コラボ × はくらボ

学会から企業、官公庁など様々な連携がありました



RISTEX プログラムの一員として

北海道大学と、大阪市立自然史博物館の共同研究「市民の SDGs 取組に向けた行動変容のためのミュージアム活用シナリオの創出」の一員として、ミュージアムが核となり市民の環境意識・行動変容を促すツールの開発に携わりました。子どもワークショップの構造を分析し、メッセージを届ける要素を整理。指導者向け動画にまとめました。

ミュージアムでのワークショップの作り方 検索



魚の標本を触るようす



YouTube でぜひ視聴ください！

文化庁【new!!seum】第一弾ムービーに

これからの博物館に求められる多様な価値を提供している博物館。そんな各地の取り組みを紹介する文化庁の総合サイト【new!!seum】第一弾のムービーに、私たちのワークショップ「ホネホネねこたいそう」が取り上げられました。本気でネコになりきった子どもたちの様子(GoPro で撮影した子ども目線の動画も！)や、企画を担当したスタッフの想いも語っています。

new!!seum 大阪市立自然史博物館 検索



撮影のようす



みんなでネコになりきりました

西宮市のレオポン「ジョニー」の剥製復元

かつて阪神パークで飼育されていた人気者レオポン。死後は剥製となり展示されていましたが、日に焼けて褪色し、特徴ある模様も消えかかっていた。市内に残された最後の一体を、西宮市民の思い出とともに残せるよう、元の姿を取り戻すための復元作業を受託し、実施しました。



残された模様を調べる



道盛理事のアルバムより
1961 年頃のレオポン

横倉山自然の森博物館 (高知県)



(撮影) 谷地森 秀二

画家・小田隆さんのご協力を得て 7/6~11/24 企画展「古生物復元画の世界」が開催されました。会場デザイン、パネル作成、広報デザイン、設営を担当しました。

SPNHC/TDWG 沖縄2024



国際自然史標本保全学会 (SPNHC) と生物多様性情報標準化委員会 (TDWGS) が沖縄県宜野湾市で行われ、会議のロゴを制作しました。盛口 満さん(ゲッチョ先生)のイラストとコラボさせていただきました。

インターン生2名を受け入れました！



2023 年にスタートした人材育成事業「学生・若手のインターン制度」。2 名のインターン生を受け入れ、博物館の体験の場を作ることができました。マンスリーサポーターの皆様、人材育成事業へのご支援に感謝します！これからも「社会と自然と博物館をつなぐ」活動を進めます。

◀インターン生 (左) 関西学院大学 ミツイさん (右) 広島大学 ナカニシさん

担当者コメント



博物館における普及教育の場を体感してもらいました。ナカニシさん、ミツイさんならではの視点や個性で、細やかな観察や意見をもらえて、スタッフも勉強させていただきました。

大阪自然史フェスティバル



学芸員、大阪自然史センター、大学生のスタッフ

自然史フェス **21** 年目に突入

出展団体数 **126** 団体

来場者数 **22,500** 人

来場者数は昨年より 3,000 人以上も増え、多くの方に自然に関わる団体との交流や、素敵な自然グッズとの出会いをつなげることができました。次の自然史フェスは 2026 年開催予定です。

大阪市立自然史博物館友の会



友の会秋まつり「野草茶を楽しもう」
39 種類の野草茶を試飲して比べっこ

会報誌の数
「Nature Study」発行数 **12** 冊

自然観察などの行事数
月例ハイキング
友の会イベントなど **51** 回
(8 回雨天で中止)

入会者数
(うち賛助会員 109 名) **1,732** 名

野外観察会、バックヤードツアー、秋まつりなど。年中通して行事がいっぱい！秋まつりでは、野草茶を味わい楽しんでもらいました。会員数は昨年より 30 世帯増加し、世代を超えて自然と触れ合う活動を行いました。

ワークショップ

大阪市立自然史博物館「子どもワークショップ」



「よみがえれ！おおむかしのいきもの」復元画のWS

西宮市貝類館



大阪市立自然史博物館で子ども向けワークショップを毎月実施。展示や標本をもとに、学芸員さんと一緒にたのしくお話。遊んで学ぶ場に。



今度はどんなワークショップ？また来るね。

さんかしゃのこえ

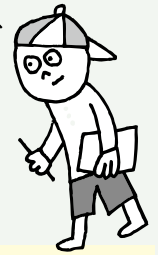
西宮市貝類館で初の未就学児向けワークショップ「こんにちは！はじめての貝」を実施。世界の大きな貝に触れ、貝と砂で楽器を作って楽しみました。この日が博物館デビューという赤ちゃんも！

出張「子どもワークショップ」



イオン藤井寺の出張プログラム「三葉虫化石クリーニング体験」

公民館や商業施設などにお呼ばれして、自然史科学のワークショップを実施しました。標本を見たり、生きもののクイズをしたり、工作をしたり。博物館を飛び出して、自然や生きもののことを伝えました。



化石や生きもののこと、もっと知りたくなった！

担当者コメント



子どもの反応や目の付け所・考え方は本当に多様で面白い！私たちも楽しみながら、様々なテーマ・場所でワークショップを実施し、たくさんの子どもたちと触れ合うことができました。

ミュージアムサービス

コラボがうみだすミュージアムグッズ



「自然史のイラストレーション」での展示



盛口 満さんとコラボしたイリオモテヤマネコマグカップ

コラボづくしだったミュージアムショップ。特別展では収蔵資料を活用したグッズを制作し、盛口 満さん（ゲッチョ先生）ともコラボ！自然史フェス出展者作品の販売などショップを通じた繋がりを深めました。

こんなに色々な商品があるミュージアムショップは、はじめて。驚きました！

いつも楽しみにしている学芸員監修グッズ。もっと増やしてほしい！

お客様アンケートより



国際昆虫学会議

イベント参加出展

11回

生物系学会含むイベント出展は11回以上。今後もネットショップやショップ活動を通じて自然史科学の普及教育を進めます。

（イベント）骨々展、野鳥グッズマーケット、いきものづくし、わくわく野鳥博、博物ふえすていばる！、ホネホネサミット2024@しずおか、神保町ワンダーカンマー
（学 会）国際昆虫学会議&昆虫大学、日本鳥学会、日本爬虫両棲類学会

担当者コメント



多くの人と関わるからこそ多様性のあるミュージアムショップが生まれると実感できました。出張ショップ、ネットショップを通して可能性をさらに広げていきます。

関西自然保護機構（KONC）

新体制となった運営委員会では、監事の方にもオブザーバーとして参加して頂くようになりました。例年通りの事業に加え、京都府RDB（レッドデータブック）フォーラムを共催しました。

滋賀県山門水源の森フィールド ▶ 観察会にて



高槻市立自然博物館 あくあびあ芥川

創立30周年記念企画展「あくあびあと私〜30年間の足あと〜」を開催。館にまつわる思い出を一般公募し、あくあびあの今・昔をみんなで共有しました。



メディア掲載・執筆

論文



日本の科学者

12月号 通巻 683号

メトロポリタンプレス

2024年12月20日

道盛正樹

川上和歌子・西澤真樹子

雑誌



全科協ニュース

vol.54 No.06

全国科学博物館協議会

2024年11月1日

書籍



《動物をえがく》人類学

岩波書店

2024年12月24日

ラジオ



2024年6/8・6/15 ニッポン放送 FM93 AM1242

「おしゃべりラボ 〜しあわせ Social Design 〜」に西澤 が出演しました。



教育

8月号 No.943

教育科学研究会

2024年7月10日

スタッフがイラスト・コラムを執筆しました（西澤・竹村）

マダニの科学

- 知っておきたい感染症媒介者の生物学 -

ハダニの科学

- 知っておきたい農業害虫の生物学 -

岩波書店

2024年11月1日

2024年会計報告



たくさんの
応援コメント
ありがとうございます！
ございます！

■活動計算書

(2024年1月1日から2024年12月31日まで) ※概要版

科 目		金 額 (円)		
経常収益	受取会費	正会員会費	72,000	
	受取寄付金	友の会事業寄付金	1,535,000	
		自然保護・自然環境保全に関する事業寄付金	545,940	
		普及教育事業寄付金	1,944,140	
		その他の寄付金	666,780	
	事業収益	友の会事業収益	5,475,090	
		ミュージアムサービス事業収益	35,208,000	
		調査・研究受託事業収益	4,300,280	
		普及教育事業収益	18,674,440	
		自然保護・自然環境保全に関する事業収益	4,685,190	
		施設運営管理事業収益	53,857,710	
	その他収益	雑収益	52,000	
		受取利息	1,890	
		棚卸資産増加益	2,203,850	
経常収益 合計		129,170,390		
経常費用	事業費	給料手当	24,647,160	
		臨時雇賃金	20,594,480	
		福利厚生費	5,267,090	
		諸謝金（支払報酬料含む）	3,213,200	
		旅費交通費	2,081,220	
		会議費	25,370	
		消耗品費	3,979,970	
		印刷製本費	4,016,910	
		光熱水道費	8,378,630	
		修繕費	3,478,360	
		通信運搬費	2,631,860	
		保険料	428,530	
		委託料	6,903,050	
		賃借料	42,000	
		調査研究費	3,372,630	
		助成金	395,500	
		租税公課	2,897,190	
		雑費	3,385,530	
		仕入費	19,941,960	
		販売手数料	2,365,150	
		減価償却費	53,460	
		棚卸資産評価損	2,503,420	
		事業費 合計		120,602,750
	管理費		7,280,940	
	その他支出		雑損失	
	経常費用 合計			127,883,700
	当期経常増減額			1,286,690
当期正味財産増減額			1,286,690	
前期繰越正味財産額			80,267,370	
次期繰越正味財産額			81,554,060	

自然科学の
普及を応援
しています。

自然史
フェスティバルは、
意義のある
催しだと思って
います。
頑張ってください！

いつも楽しくて
ためになる、
人生が豊かに
なる企画・運営
をありがとうございます！
ございます！

■貸借対照表

(2024年12月31日現在)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
流動資産	現金及び預金	流動負債	未払金
	売掛金		預り金
	商品		仮受金
	立替金		
	前払費用		
	未収入金		
	仮払金		
	事業積立金		
	流動資産合計		
固定資産	上具器具備品		
	差入保証金		
	固定資産 合計		
資産の部 合計		負債及び正味財産の部 合計	

<表紙の写真>

左：「深泥池」観察会。学芸員、理事から自然を学ぶセンタースタッフ 右上：レオポン復元作業完成後の凛々しい姿
右下：インターン生2名の活動のようす、WS「ほねほねネコたいそう」

自然史系の古本をお送りください
自然史系の良書を次の読み手に！

大阪自然史センターでは、寄贈された古本を、地域の福祉団体さんに査定していただき、
イベントや店頭で販売、その売り上げを私たちの活動に活かしています。

寄贈の条件の確認やご相談は 西澤 まで
npo@omnh.jp



認定特定非営利活動法人 大阪自然史センター
〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23
TEL 06-6697-6262 FAX 06-6697-6306
<http://www.omnh.net/npo/>

Follow Me! 活動内容は X, Facebook, Instagram から！



ミックス
ラベル | 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C152228
この製品は、FSC® 認証材、再生資源、
およびその他の管理原材料から作ら
れています。